



2018年8月8日

フェラーリ・ジャパン株式会社
代表取締役社長 リノ・デパオリ様
マーケティング・ディレクター 遠藤 克之輔様

フェラーリクラブ オブ ジャパン (FCJ)
会長 中山 隆広
会長補佐 五十嵐 正幸
副会長 平田 寿
理事 石田 格
理事 大石 真澄
理事 石井 秀和

フェラーリオフィシャルクラブの統合に向けた案内について

平素より、FCJ 活動につきましては、長年にわたり多大なご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて早速ですが、さる8月3日の FCJ 定例理事会におきまして、初めて当クラブの中山会長よりフェラーリオフィシャルクラブ統合に向けた話し合いの説明がありました。

その主な内容は、イタリア本国の FOC (Ferrari Owners Club) のガイドラインにより統合が決定されたことと、統合に向けた詳細は今後の話し合いで決定していく、という説明でした。

本日、御社で準備されています今月10日に配信を予定されている文書を、拝見したところ、フェラーリジャパン株式会社、フェラーリクラブオブジャパン (FCJ) 並びにフェラーリオーナーズクラブジャパン (FOCJ) 3者で統合について合意された文面になっており、しかも統合後についての略称も FOCJ (ロゴマーク含め) で決定されているように示されており、こういった過程でこのような提案になったか驚きを禁じえません。

当クラブ (FCJ) としましては、FOC としての決定とされる正式文書を要求するとともに、現状3者で合意されているとした内容の文言については、甚だ合意できるものではありません。現状は統合に向けた協議を開始することに合意する段階と認識しています。

従いまして、御社で予定されている現状文書の今月10日の配信について承服いたしかねます。

当クラブ (FCJ) は、その発足から四半世紀にわたり、多くの会員のメンバーとともにオフィシャルクラブとして培ってきた歴史や伝統など継続して活動してまいりました。

将来的にオフィシャルクラブとして統合していくことについては、反対するものではありませんが、大前提として、お互いのクラブを平等の立場で統合していく配慮が必要と考えます。

なお、今回の統合に向けたプロセスなど一連の確認は、当クラブ (FCJ) としても FOC に報告するとともに並行して確認しながら進めていきたいと思いますのでご理解ください。

以上